



子どもたちが描く、 交通安全への願い。

~JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクール~

「自転車に乗るときに、
みんなも安全を考えてほしい」

J.A共済 全国小・中学生
交通安全ポスターコンクール
警察庁長官賞受賞
佐藤夢琉さん

「遊びに行くとき、お母さんから『交通ルールを守るんだよ。自転車も車と同じだよ』と言われます。だから、ポスターの標語は『自転車に乗ったばかりも運転手』というものにし、自転車と道路の標識を描いてみました。道路標識が載っている図鑑から、描いたものを選んで二つひとつをよく観察し、細かいところまでこだわったといいます。真中の人物はお兄ちゃんがモデル。実際に自転車に乗ってもらって、それを見ながら描きました。標識と人物のバランスも一生懸命考えました」

「実際に自転車に乗ってもらって、それを見ながら描きました。標識と人物のバランスも一生懸命考えました」

「実際に自転車に乗ってもらって、それを見ながら描きました。標識と人物のバランスも一生懸命考えました」

「ポスターを描くことで、交通安全ルールを守るようになります」

「驚きとうれしさで思わず飛び跳ねました。みんながすごいって言つてくれたのが一番よかったです。全校集会で表彰もされました」

「応募のきっかけは、お兄ちゃん。『描いて見る姿を見て、僕もやってみたい』と思いました」と小学2年生から3年間応募を続けています。ポスターに向き合い交通安全を考える姿は、佐藤家の夏の風物詩の一つになりました。

お兄ちゃんの
応募のきっかけ。



佐藤夢琉さん

周りへの感謝の
気持ちをもつて、
次のポスターへ。

いつも見守ってくれる人たちへ、感謝の気持ちを語ってくれました。

「お母さんは、絵のことを優しく教えてくれます。お父さんは、僕がやりたいことに付き合ってくれるんです。学校の先生は、間違いや失敗をしたときに励ましてくれます」

「ポスターを描くことを通じて、一人ひとりが交通安全について考えてほしい」と願うのは、JA佐渡の本間恵理奈さんとJA共済連新潟県本部の山中保さん。お二人とも、コンクールを通して交通安全意識のさらなる高まりをサポートしています。

「作品に触ることで、大人も気をつけよう」という意識が芽生えるのは、このコンクールの大切な意義の一つではないでしょうか。描いているテーマを見ていて、自転車に乗るときに交通安全を考えてほしいと思います。それでみんなが注意するようになれば、人のためにもなつてうれしいです」

子どもたちや学校
とのつながりが、
やりがい。

一人ひとりの想いに、寄り添い続けたい。



右) JA佐渡 本間恵理奈さん
左) JA共済連 新潟県本部 山中保さん

「子どもたちにいかに応募してよかったです。県内の展示会を始めさまざまなかつら活動を進めていますが、特に今年は受賞作品を用いたラッピングバスで、自転車でも走らせることができます。今年初めて、佐渡島でも走らせることができます。県内の別の地域の皆さんにも、作品を見てもらえる機会を積極的につくることで、よりたくさん的人が交通安全を意識するきっかけになると信じています」

「受賞者の友だちや県内の別の地域で地域づくりに貢献したい。これからも変わらない、JA共済の想いでです。事故を一つでも減らし、暮らしやすい環境づくりに貢献したい。これからも変わらない、JA共済の想いでです。」

より多くの人が、
作品に触れられる
機会を。

今年も作品募集受付開始! 応募作品数10万点以上を誇る「JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクール」。



交通安全ポスター
コンクールキャラクター
「ガシヨー」

第51回(令和4年度)交通安全ポスターコンクール課題	
交通安全を訴えるためのポスター	
① 子ども向けまたは歩行者向けの交通安全ポスター (児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)	② 運転者向けの交通安全ポスター (自動車・農耕作業用自動車を含む)・バイク・自転車などを運転する人に交通事故の防止を呼びかけるもの)

主催 農業協同組合/全国農業協同組合連合会(協賛)(一社)日本農業新聞/(一社)光協会/全国農業協同組合連合会/農林中央金庫/全国厚生農業協同組合連合会
後援 内閣府/警察庁/文部科学省/(一財)全日本交通安全協会/全国都道府県教育委員会連合会/全国市町村教育委員会連合会/全国連合小学校長会/全日本中学校長会/(公社)日本PTA全国協議会

応募の詳細はコチラ ▶ JA共済 コンクール 検索

※応募方法はお住まいの都道府県によって異なります。詳しくは、コンクールホームページでご確認ください。<https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/>

